

施策評価シート (平成31年度の振り返り、総括)

作成日 令和2年 04月 06日

施策 No.	34	施策名	観光の振興
主管課名	商工観光課	電話番号	0285-83-8135
関係課名	農政課、情報政策課		

施策の対象	市内を訪れる観光客 (首都圏住民が中心的なターゲット層)								
対象指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	31年度見込
観光客入込数	人	2,845,313	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,649	2,960,527	3,177,751	3,000,000
関東 1都6県の人口	人	42,625,150	42,797,000	42,992,000	43,222,199	43,304,298	43,389,669	43,581,963	43,500,000

施策の意図	本市の魅力を高め、市外から多くの人々に訪れてもらい、活力あるまちづくりを進める。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客入込数は、県調査によるデータ。(平成31年1月～令和元年12月)</li> <li>その他は、商工観光課で調査したデータ。</li> <li>客一人当りの消費高の算出は、井頭温泉・チャットパレス・ゴルフ場・観光物産館・道の駅・あぐりっ娘の売上高を客数で割出して算出。</li> </ul> <p>平成31年度実績 (1,303,438千円 ÷ 739,482人 1,763円)                  平成30年度実績 (1,423,049千円 ÷ 821,371人 1,733円)                  平成29年度実績 (1,363,532千円 ÷ 793,266人 1,719円)                  平成28年度実績 (1,435,780千円 ÷ 837,200人 1,715円)</p>								
成果指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	31年度基本計画目標値
観光客入込数	人	2,845,313	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,649	2,960,527	3,177,751	3,000,000
客一人当りの消費高	円	1,687	1,695	1,704	1,715	1,719	1,733	1,763	1,800

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	ア 市民 イ 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手として観光まちづくりの活動を推進する。</li> <li>観光まちづくりの担い手である市民の育成と、その活動を支援する。</li> <li>県や近隣市町と情報交換など連携を図り広域的な観光の振興に努める。</li> <li>メディアを有効的に活用し、認知度向上に努める。</li> </ul>
-------------------------	--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（1）施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

・観光客入込数は、平成29年は2,990,649人、平成30年は2,960,527人、令和元年は3,177,751人で前年対比107.3%であり、217,224人増であった。

（主なもの）

井頭公園	727,543人	（前年比較	48,794人増）
真岡井頭温泉	341,045人	（前年比較	19,327人増）
道の駅にのみや	216,790人	（前年比較	38,507人減）
夏祭り・花火大会	350,000人	（前年比較	100,000人増）
一万人プール	148,135人	（前年比較	11,769人減）
SLキューロク館	168,410人	（前年比較	85,639人増）

・北関東自動車道真岡ICの1日平均交通量は、平成29年度7,511台、平成30年度8,000台、令和元年度7,333台であった。

年々増加傾向にあったが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響により減少した。

（2）近隣他市との比較

・近隣他市町も同様に、平成23年東日本大震災以降、観光客入込数は増加傾向である。令和元年の観光客入込数は、昨年比217,224人増の3,177,751人であった。

なお、県内14市中、4市が増、10市が減であり、本市が前年比伸び率1位であった。

真岡市	3,177,751人	（前年比107.3%	217,224人増）
宇都宮市	14,768,400人	（前年比 97.6%	362,050人減）
足利市	4,862,660人	（前年比 95.7%	220,808人減）
栃木市	5,514,544人	（前年比 91.8%	494,687人減）
佐野市	8,574,819人	（前年比 98.1%	166,257人減）
鹿沼市	3,118,676人	（前年比 87.4%	448,391人減）
日光市	11,813,538人	（前年比 95.8%	520,892人減）
小山市	3,518,268人	（前年比103.9%	132,421人増）
大田原市	3,429,419人	（前年比 98.0%	71,647人減）
矢板市	1,879,864人	（前年比101.5%	28,264人増）
那須塩原市	8,811,708人	（前年比 93.5%	613,593人減）
さくら市	1,954,537人	（前年比103.1%	59,243人増）
那須烏山市	457,681人	（前年比 92.3%	38,032人減）
下野市	2,235,692人	（前年比 96.6%	77,717人減）

（3）住民期待水準との比較

・市民意向調査の「今後のまちづくりに力を入れて欲しい施策」の質問に対し、観光の振興を選んだ割合が、平成29年度9.9%、平成30年度8.8%、令和元年度8.9%であり観光まちづくりによる活性化への期待度は横ばいである。

31年度の  
評価結果

## 2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

・平成28年度に「総合運動公園子ども広場」に中心市街地をメインとした観光施設等の案内看板を設置し、観光PRに努めるとともにイベント等のポスターを掲出し誘客を図った。

・平成28年度に「SLの走るまち もおか」の更なるイメージアップと誘客を図るため、D51の屋根やメンテナンスに要するピットを整備し、保存環境の整備を行った。平成29年度には、D51の動態整備を行い圧縮空気での自走が可能となった。平成30年度は、DC（デスティネーションキャンペーン）の目玉として、動態整備が完了したD51を初披露し、運転体験など、生まれ変わった観光資源の有効的な活用に向けた。

・「着物でまち歩き」イベントは、対象が女性だけであったが、平成28年度に新しく男性用着物も新調し、ペアで参加できるように充実させた。

・本市3大観光資源を活かした「いちご狩り体験」、「SL乗車体験」、「真岡木綿の機織り体験」、「いちご染め体験」を旅行事業者等に提供し、好評をいただいた。

・「真岡の一万本桜まつり」をはじめとしたイベントの開催にあわせて、市内観光施設を巡る周遊バスを運行した。（令和元年度：537人利用）。

いちごサミット本会場とサテライト会場、SLキューロク館を結ぶ特別便を運行を予定していたが延期となる。

また、観光協会、シティブロモーションとの共催で、サミットモニターツアーを企画し、観光誘客を図ったが、延期となる。

・1市4町とJAなどの関係機関で組織する「いい芳賀いちご夢街道」推進協議会に加盟しいちごをテーマとした地域ブランドの確立に向け広域連携を図るとともに、「いちごまつり」や「いちご狩り」などの体験型観光への誘客活動を実施して、「いちご日本一のまち」を市内外にPRした。

・「真岡の五大夏まつり」（久下田祇園祭・真岡の夏まつり・もおか木綿踊り・灯ろう流し・尊徳夏まつり）をはじめとする観光イベントを支援し、観光誘客による交流人口の増加に努めた。

・東京スカイツリータウン内にある「とちまるショップ」、有楽町、埼玉県桶川市、のイベントに参加して本市観光のPR活動を実施した。

・本市への誘客を促進するため、とちぎテレビ・FM栃木・下野新聞、真岡新聞などのマスメディアや、ホームページ、フェイスブックなどのSNSを活用し、本市の観光資源等の情報を市内外に発信した。

・「真岡浪漫ひな祭り第11章」を久保講堂（主会場）及び金鈴荘で実施した。（令和元年度：11,657人来場：昨年比6,484人減 新型コロナウイルス感染症の影響あり）また、スタンプラリーを実施し、回遊性の向上に努めた。

・中心市街地の活性化を図るため、観光拠点施設である「久保記念観光文化交流館」と「真岡木綿会館」の再整備工事を行い、両施設にカフェスペースを、木綿会館には、ショップを整備し機能の充実を図るとともに交流人口の増加に努めた。

・フィルムコミッションを推進するため、テレビ局への営業活動、パンフレットを作成し、ロケ地誘致を図った。

31年度の  
評価結果

### 3. 施策の課題認識と改革改善の方向

・観光客入込数を増加させるためには、観光客の満足度の向上を図り、リピーター化を促進することが課題である。引き続き、観光拠点のPRとおもてなしの心で観光客を誘客し、観光のまちづくりを推進する。

・「久保記念観光文化交流館」、「真岡木綿会館」、「井頭温泉」、「SLキューロク館」、「あく里っ娘」、「道の駅にのみや」、「尊徳資料館」等の観光施設と連携を図り、各種イベントや季節の祭事等の観光情報をマスメディアやホームページ、フェイスブックなどのSNSを活用し、本市の魅力を市内外に情報発信する。

・栃木県や芳賀地区観光推進協議会と連携を図り、広域観光のPRを図るとともに、広域的な取り組みを実施する。

・9600形SLとD51形SLという全国に誇れる観光資源をSNS等を活用して情報の発信に努め、さらなる交流人口の増加を図る。また、動態整備が完了したD51の運転体験や助手席体験など、さらなる活用方法を検討する。

・「久保記念観光文化交流館」を観光情報の発信拠点とし、周辺の観光資源との連携を強化するとともに、観光物産館の充実を努める。また、「まちのお休み処もめん茶屋」、「木綿会館ショップ」をPRし、中心市街地に賑わいを創出する。

・東京都、埼玉県、などの県外で開催されるイベントに積極的に参加し、真岡市のPRに努める。

・いちご狩り体験・機織り体験・いちご染め体験、SL乗車などの体験型観光の推進により、観光客のリピーター化を促進する。

・市民と協働の観光まちづくりを推進するため、市民ボランティアである観光コンシェルジュや観光協会の組織体制の充実を図る。

・移住、定住の促進を図るため、シティープロモーションを推進し、積極的に本市の魅力を発信することにより、知名度の向上と交流人口の増加を図るとともに、市民ふるさと愛の醸成に取り組む（情報政策課）。

#### 【増補版に関連する事項】

・DCを契機とした観光の振興

本市の観光スポットや体験型施設を巡る厳選コースを掲載した観光パンフレットを新たに作成し、PRを図っていく。さらに、真岡鉄道沿線市町と広域的な連携を図り、観光客の誘客を推進する。

・フィルムコミッションの推進

映画、テレビ、CMなどに利用できるロケーション撮影を誘致し、本市の魅力発信やイメージアップを推進する。

31年度の  
評価結果

補足事項

真岡市イベント一覧

【主催事業】

- ・一万本桜まつり 3月中旬～4月下旬
- ・久保記念館観光文化交流館イベント 随時
- ・真岡もめん着物でまちあるき 随時
- ・特別誘客いちご狩り 5月下旬
- ・久保記念館観光文化交流館周年イベント 10月下旬
- ・まちのお休み処もめん茶屋周年イベント 10月下旬
- ・真岡・浪漫ひな祭り 2月上旬～3月上旬
- ・全国いちごサミットIN真岡2020 3月中旬
- ・スカイツリー「とちまるショップ」観光PR 2月中旬

【協賛・共催及び後援行事】

- ・天の織姫市 4月第二日曜日
- ・SLキューロクアニバーサリー 4月下旬
- ・水石盆栽展 5月上旬
- ・花と緑の市 5月上旬
- ・いちご祭り 5月中旬
- ・真岡さつき祭り 6月上旬
- ・埼玉県桶川市 べに花まつり 6月下旬
- ・中村夏祭り 7月上旬
- ・久下田祇園際 7月中旬
- ・真岡の夏まつり 7月下旬
- ・高田の夜祭り 8月1～2日
- ・栃木SC真岡市民デー 8月上旬
- ・灯ろう流し 8月15日
- ・もおか木綿踊り 8月中下旬
- ・尊徳夏まつり 8月下旬
- ・中村八幡宮例大祭（流鏝馬） 9月第三日曜日
- ・井頭マラソン 10月上旬
- ・もおか木綿ふれあい祭り 10月第二日曜日
- ・久保記念館観光文化交流館及び  
木綿茶屋周年イベント 10月最終日曜日
- ・秋季盆栽展 11月下旬
- ・SLフェスタ 11月～12月
- ・はが路ふれあいマラソン 12月中旬
- ・初市（だるま市） 1月第二月曜日の前日